

SUSTAINABILITY ACTION REPORT 2021

2030年3月期に向けた

長期ビジョン

VALUE (価値観・DNA)
創造は生命×積極進取

MISSION (存在意義)
感動体験を創造し続ける
～社会をもっと元気に、カラフルに。～

VISION (ありたい姿)
Be a Game Changer
～革新者たれ～

エンタテインメント
コンテンツ事業

グローバルリーディング
コンテンツプロバイダー

遊技機事業

販売・稼働シェア
ナンバー 1

リゾート事業

IR開業



Environment



サステナビリティ
Empathy



Edge



Economics

私たちは、2030年3月期をゴールとする、
新たな長期ビジョンを策定しました。
私たちの存在意義であるミッション「感動体験を創造し続ける
～社会をもっと元気に、カラフルに。～」、
ありたい姿である「Be a Game Changer」というビジョンの下に、
各セグメントにおける長期的な目標を設定したほか、
よりサステナビリティを意識した経営を行い、
持続的な企業価値向上に向けて取り組んでいきます。

目次

- 01 2030年3月期に向けた長期ビジョン
- 02 2021年3月期サステナビリティハイライト
- 04 セガサミーグループ5つの重要課題

依存症

- 07 安心・安全にお楽しみいただくために

人

- 08 働き方改革でインクルーシブな仕組みに
- 09 ダイバーシティ推進と人権尊重

製品／サービス

- 11 顧客サポートの充実
- 12 安心・安全な製品の提供
- 13 事業を通じた社会貢献

ガバナンス

- 14 コンプライアンスの強化
- 15 リスク・マネジメントの状況

環境

- 16 廃棄物削減(リユース・リサイクル)の取り組み
- 17 地球温暖化対策と水使用量削減
- 18 自然環境の保護、整備への貢献など
- 19 各メディアでの開示情報

2021年3月期サステナビリティハイライト

4月

- 緊急事態宣言を受けて
テレワークへ移行

5月

- 障がい者雇用の促進と支援を目的とした
「バリアフリー eスポーツ
ePARA2020」参加

6月

- 「Dance Base Yokohama」
グランドオープン

7月

- 特例子会社セガサミービジネスサポート
東京事業所を開所し新たな雇用を創出



8月

- 生涯スポーツとしての
ダーツの認知を広める
「スポーツダーツプロジェクト」が始動

[詳細はこちら](#)

9月

2020/09

障がい者の活躍推進に取り組む国際イニシアティブ

「The Valuable 500」に加盟

多様な背景を持つ人々の個性を互いに理解し関わり合い、多彩な人材が自分らしく活躍できる職場づくりを推進することで、インクルーシブな社会づくりに貢献します。

[詳細はこちら](#)


2020/09

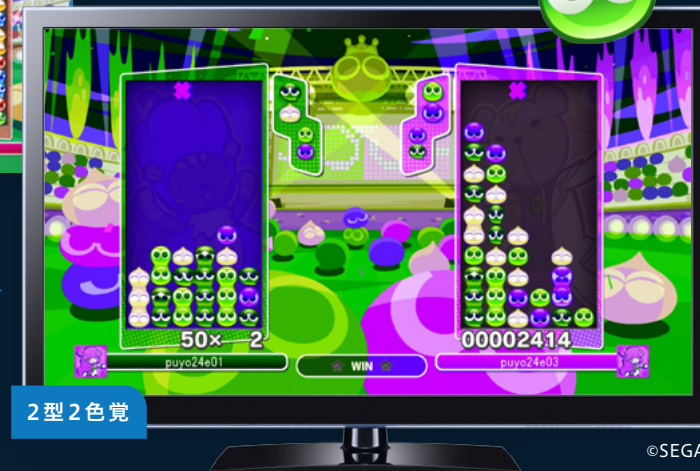
セガ「ぷよぷよeスポーツ」のアップデートにて

色覚多様性に対応した「色ちょうせい」機能を実装

NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構(CUDO)監修のもと、色覚多様性者にも識別しやすい色や形状を調整できる機能を実装しました。

[詳細はこちら](#)


通常表示



2型2色覚

©SEGA

10月

- 電子契約を導入し
テレワークにおける業務環境を整備
- 「Dance Base Yokohama」が
2020年度グッドデザイン賞を受賞

11月

12月

- 「Dance Base Yokohama」にて
視覚障がい者とダンスの
新しい味わい方を探求する
プロジェクト立ち上げ

1月

- 障がい者雇用における
ソーシャルインクルージョン
日米共同研究(期間:1年半)がスタート

2月

- 障がい者雇用に関する国際カンファレンス
「Dignity of Work」で講演

3月

2020/10

「2020 Art of the Rough Diamonds(ダイヤの原石たち)展」

障がい者アートの展示販売会を開催

東京愛宕ロータリークラブ、LIVES TOKYOとの共催にて150名のゲストをご招待し、芸術性の高い個性豊かな作品約70点を展示。オークションでは多くの作品が落札されました。



2020/11

職場におけるセクシュアル・マイノリティへの取り組み評価指標

「PRIDE 指標」で最高評価「ゴールド」を2年連続受賞

LGBTへの理解を深めるためのe-learningや講演会の実施といった啓発活動、外部相談窓口の設置、「東京レインボープライド2020」の応援など、グループを通じたLGBTへの積極的な取り組みが評価されました。



2021/03

Sega of America, Inc.の SNS を通じて

アジア系の人々への ヘイトクライムに対しメッセージを発信

人種差別や暴力の根絶を支持し、アジア・太平洋諸島系アメリカ人(AAPI)コミュニティ内における関連運動への寄付をはじめとするさまざまな社会活動を継続的に実施していくことを発信しました。

詳細はこちら [🔗](#)



セガサミーグループ5つの重要課題

(E) エンタテインメントコンテンツ事業 (P) 遊技機事業 (R) リゾート事業 (SS) グループ

取り組むべき重要課題と重点項目

取り組み

2021年3月期の進捗・実績

主な掲載ページ

関連するSDGs



環境

製造過程の環境負荷軽減を重視した製品設計やリサイクル、リユースを通して、より効率性を上げる取り組みのほか、環境保全や消費電力の削減などの取り組みを進めます。

事業活動から発生する環境負荷の軽減

地球環境資源への配慮

環境配慮型製品開発・販売の推進

- (E) 低消費電力製品の開発・提供点数の増加
- (P) エコぱちんこの開発、製品化への展開

3R(特にリサイクル)の推進

- (P) 遊技機リサイクル率98.6%
- (E) アミューズメント(AM)機器の手分解による100%リサイクルを実施

環境保全活動の推進

- (E) 年次サプライヤーミーティングでの環境規制などの情報配信

環境施策の推進

- (SS) 主要グループ会社11社の環境負荷に関わる数値の把握体制の整備
- (SS) グリーン電力証書の購入(実績:100万kWh/年)
- (E) 横浜市風力発電事業「Y(ヨコハマ)-グリーンパートナー」への協賛(2021年9月終了)
- (E) 長野県南佐久郡南相木村と「森林(もり)の里親契約」を締結
- (R) シーガイア敷地内の黒松の森(約2,417,000㎡)の管理・保護・育成
- (R) 「シーガイア ビーチクリーンinーツ葉」の実施

P.16



P.17
P.18



依存症

統合リゾート(IR)事業と関連性の深い「ギャンブル依存症」をはじめとした依存症問題や、ゲームに没頭して健康に深刻な障害が出る「ゲーム障害」、ぱちんこ・パチスロの「のめり込み問題」の対応・予防への取り組みを進めます。

依存症対策など

その他安全対策など

依存症共同研究など

- (SS) 京都大学との産学共同研究

業界団体基準などに準拠した安全基準の遵守

- (E) (P) 業界団体の基準などに準拠した安全基準の設定
- (P) 業界団体を通じた適度な遊技環境の推進

不正防止対策

- (P) 法的規制への対応と不正防止対策

P.07



(E) エンタテインメントコンテンツ事業 (P) 遊技機事業 (R) リゾート事業 (SS) グループ

取り組むべき重要課題と重点項目	取り組み	2021年3月期の進捗・実績	主な掲載ページ	関連するSDGs
 人 多様な人財が働きがいを持って活躍できる環境をつくり、創造性豊かな企業風土を形成していくほか、ダイバーシティを当然のこととし、人権の尊重と差別の禁止、弱者保護による不平等の排除を徹底します。	働き方改革・改善	SS 働き方改革推進（フレックスタイム制度の変更、テレワーク手当の試験導入、副業制度、テレワーク推進など） SS 「SEGASAMMY College」の開講（のべ6,642名受講）	P.08	  
	多様性向上、不平等の排除など	SS 同性パートナーを配偶者と同じ扱いにする各種制度導入 SS 任意団体「work with Pride」による「PRIDE 指標」でゴールド認定2年連続受賞 SS 人種差別反対の意思表示	P.09	
 製品／サービス エンタテインメントを通じて感動体験を創造し、社会をもっと元気に、カラフルにするために、革新的な製品の提供を可能とする開発プロセスの構築、製品・サービスの持続的な品質向上、安心・安全に楽しめる製品・サービスの提供を行います。また、事業を活かした社会課題解決にも積極的に取り組み、継続的な成長・企業価値の最大化につなげていきます。同時に、良き「企業市民」として、グループ全体で、地域社会の皆さまと積極的に対話しながら、多様なエンタテインメントおよびその振興を通じて社会への貢献を進めていきます。	事業を活かした社会課題の解決	E 「ぶよぶよ」を使用したプログラミング授業の提供	P.13	  
	製品・サービス品質向上 安心・安全な製品	E P 対象各国の法令、業界基準などに則し、それを上回る自主基準の設置、製品表示などによる情報開示を含む品質保証 E P 正確で適切な製品表示 E P お客様サポート体制の充実	P.11 P.12	
	被災地支援	SS 宮城県七ヶ浜町と地方創生に係る包括的連携協定締結	P.13	
	地域コミュニティなどへの貢献	SS 品川区との連携 SS 「Dance Base Yokohama」設立、「TOKYO JAZZ」など芸術活動への協賛 SS 「絵本を届ける運動」への参加（353冊、発展途上国のエンタテインメント環境整備） SS 認定NPO法人ファミリーハウスを通じた玩具寄贈 SS 特例子会社の社員による地域の花壇整備活動	P.13	    

(E) エンタテインメントコンテンツ事業 (P) 遊技機事業 (R) リゾート事業 (SS) グループ

取り組むべき重要課題と重点項目

取り組み

2021年3月期の進捗・実績

主な掲載ページ

関連するSDGs



ガバナンス

コンプライアンスやリスク管理を含めたコーポレート・ガバナンスを重視し、法令遵守体制、内部統制システムの強化を行い、企業経営の健全性確保、透明性向上、効率性向上を目的としたガバナンス経営を徹底します。また、積極的な啓発活動を通じて社員一人ひとりが社会に対する責任感を自覚し、セガサミーグループらしいサステナビリティ活動を実践することで、社会から信頼され、長く愛される企業として存在し続けることを目指します。

ガバナンス体制強化

ガバナンス体制強化

- SS コーポレートガバナンス・コード対応、独立諮問委員会・グループ経営戦略委員会運営
- SS グループコンプライアンス・リスク連絡会議運営、セガサミーホールディングス役員研修などの実施
- SS グループミッション、行動規範の浸透状況を取締役会に報告

P.14
P.15



コンプライアンス強化

コンプライアンス強化

- SS グループ役員コンプライアンス研修(3回、131名)、管理職向けコンプライアンス研修の実施(59回、849名)、一般職向けコンプライアンス研修の実施(34回、1,361名)
- SS 管理職向けハラスメント研修の実施(16回、297名)、一般職向けハラスメント研修の実施(4回、64名)
- SS 企業倫理ホットラインの設置による使いやすい通報制度の構築
- SS グループ18社を対象とした各種研修の実施(e-learning導入済み)

P.14



サステナビリティ経営の推進と啓発

サステナビリティ経営の推進と啓発

- SS グループCEOより、社員に向け、経営理念の意味と実践についてメッセージを配信
- SS グループミッションをグループイントラネットに掲示、社員啓発を促進
- SS グループ社員向けCSR・SDGs基礎研修の実施(7回、182名)
- SS CSR BOOKLET 2020の発行
- SS 「国連グローバル・コンパクト」への署名(2014年より)

P.19

—



依存症

依存症低減

安心・安全にお楽しみいただくために

P 遊技機事業における依存症対策

電話相談機関

「リカバリーサポート・ネットワーク」への支援

2003年のぱちんこ依存問題研究会の発足を契機に、のめり込みに関する対策を開始しました。2006年には、業界団体の支援によって「リカバリーサポート・ネットワーク(RSN)」が設立され、啓発活動や電話相談などの幅広い取り組みを展開しています。

パチンコ・パチスロ依存問題啓発週間の取り組み

毎年、5月14日から20日はパチンコ・パチスロ依存問題の啓発週間です。業界団体では、この啓発週間を中心に、問題についての理解を広げるためフォーラムを開催するほか、啓発週間をお知らせするポスターの掲示などの活動を行っています。当グループは、こうした取り組みに賛同し、業界の健全な発展に貢献していきます。

遊技機業界のこれまでの取り組み

- 2003 ● ぱちんこ依存問題研究会発足
- 2006 ● リカバリーサポート・ネットワーク(RSN) 設立
- 2017 ● パチンコ・パチスロ依存(のめりこみ問題)に対する声明発表
- 2018 ● 改正規則に適合する遊技機入れ替え
 - パチンコ・パチスロ産業依存対策有識者会議(第三者委員会)発足
- 2019 ● パチンコ依存問題対策基本要綱策定
 - パチンコ・パチスロ産業依存問題対策要綱策定
- 2020 ● 全日本遊技事業協同組合連合会全国理事会において警察庁から依存対策推進への期待と協力の要請



E エンタテインメントコンテンツ事業におけるゲーム障害への対応

世界保健機関(WHO)年次総会(2019年5月)において、オンラインゲームやテレビゲームの過度なプレイによる、「ゲーム障害」が新たに疾患として認定されました。

一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会(CESA)、一般社団法人日本オンラインゲーム協会(JOGA)、一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム(MCF)、一般社団法人日本eスポーツ連合(JeSU)のゲーム関連4団体では、ゲームプレイにより引き起こ

される事象に関する調査・研究およびゲームの楽しみ方に関する啓発などを推進する4団体合同検討会を設置しました。

現在4団体合同検討会では、外部有識者の研究会と連携してゲーム障害についての調査研究を進めており、今後効果的な対策の検討なども進めます。当グループは、4団体合同検討会と連携しながら適切な対応を行っていきます。

SS 安心・安全なIR施設開発・運営に向けて(ギャンブル依存症についての産学共同研究)

セガサミーホールディングスと国立大学法人京都大学は、ギャンブル行動の遷移に関するデータの収集と分析を通じて、ギャンブル依存症のプロセス研究[※]を産学共同で実施しています。

本研究は、カジノ施設におけるプレイヤーのプレイデータを収集・分析することにより、人が危険な賭けに至る前の兆候を明らかにすることを目的として実施します。当グループでは本研究成果と結びつけることにより、依存症の兆候が見られるプレイヤーを早期に発見し、深刻化を未然に防ぐ仕組みの確立を目指します。あわせて施設利用時における自制・抑制を促す施設オペレーションを確立することで、啓発・予防から医療機関などによる治療との連携まで一

貫した体系的なギャンブル依存症対策の構築を目指します。

本研究からは、ギャンブルに繰り返し興じることで、勝敗の結果によらず、賭け金を増やしていく傾向があること、またこの傾向は勝った後でより顕著であることが明らかとなりました。また、勝ちを重ねていくことで、リスクな賭け方であっても、賭けに参加する割合が増えていくことも明らかとなりました。この論文は「International Gambling Studies」に掲載されました。

[※]本共同研究は、京都大学こころの未来研究センターにおいて、2017年12月から2023年3月まで実施予定



人

働きがいの向上

働き方改革でインクルーシブな仕組みに

SS セガサミーグループHR変革ビジョン

“感動体験を創造し続ける”ために、“Game Changer”であること。これは当グループ共通の理念です。劇的な環境変化の中、変革を起こす側であり続けるために、人事領域の指針として「セガサミーグループHR変革ビジョン」を定めました。このビジョンは、従来からの年功的・硬直的な人事の仕組み・運用スタイルを脱し、各社・各自の多様性を最大限に引き出しつつ、グループ企業である強みを発揮していくための、変革の方向性を示すものです。志と実力

を示す社員が活躍するフィールドを目指し、3つの要件と5つの重要推進事項を定めています。

これに伴い、グループ各社では、多様性を活かす行動様式として、「セガサミー 5つの力」(突破力、共感力、決断力、自制力、徹底力)を根付かせるように人材育成を進めていきます。さらに、志と実力に応じた任免、成果・貢献に応じた報酬配分、グループの垣根を越えた人材価値の最大化を推進していきます。

セガサミーグループHR変革ビジョン



ミッションピラミッド
実現が共通の
絶対軸

脱年功
志と実力を
示す者が挑戦し
活躍できる環境

グループとして
人材の活躍機会を
最大化

1 ミッション実現に向けた役割発揮

共通のミッション実現に向けて集い、それぞれが挑戦的な役割と向き合う

2 多様性を活かす行動様式

革新の原動力とするために、互いの多様性を活かしかう思考特性/行動様式を備える

3 志と実力に応じた任免

年功ではなく、個々の志と実力に応じて役割を任せることで高い当事者意識と成長を生む

4 成果・貢献に応じた報酬

同様に、それぞれの成果・貢献に対してメリハリのある報酬を実現する

5 グループ横断的な活躍機会

会社や組織の垣根を越えた異動機会を整備し、グループとして人材価値を最大化する

SS テレワーク環境の整備

当グループでは、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、社員の安心・安全を確保すべく、事業、業務特性に応じて在宅勤務と事業所勤務を組み合わせた働き方にシフトすることで、生産性の維持向上とさらなる感染拡大の防止、抑制に努めています。

リモートアクセス接続数



※セガサミーホールディングス、セガ、サミーの合計。営業日のみの平均接続数

電子契約の導入を開始

テレワークが浸透する中、withコロナ時代の多様な働き方に対応した業務効率化のため、2020年10月からグループのセガサミーホールディングス、セガ、サミーなどで電子契約の導入を開始し、順次グループ各社へ展開しています。

電子契約は、契約書に押印する代わりに、電子文書に電子署名することで締結し、企業のサーバなどに電子データを保管する契約方式です。電子契約の導入により、ペーパーレス化や押印作業の省略化が進み、テレワーク環境においてもスムーズな契約業務が可能となります。引き続き、お取引先のご理解、ご協力のもと、契約の電子化促進に努めています。



多様性の向上／不平等の排除

ダイバーシティ推進と人権尊重

SS LGBT

「PRIDE 指標」で「ゴールド」を2年連続受賞

職場におけるセクシュアル・マイノリティへの取り組み評価指標「PRIDE 指標2020」に、サミー、セガグループ、セガ、セガサミーホールディングスの4社連名でエントリーし、2020年11月に最高評価となる「ゴールド」を2年連続で受賞しました。

「東京レインボープライド2021」を応援

当グループは、LGBTの方が差別や偏見にさらされず、前向きに生活できる社会の実現を目的に開催されているイベント「東京レインボープライド」に2019年から協賛。2021年春の開催に合わせ、グループ各社のホームページやSNSなどに掲載する企業ロゴをレインボーカラーに変更し、LGBT当事者や支援者の方々に応援しました。



「ビジネスによるLGBT平等サポート宣言」に賛同

セガサミーホールディングスは2021年5月、日本におけるLGBT平等法の導入を支持し、性的指向や性自認に基づく差別を禁止して誰もが平等に扱われるインクルーシブな職場・社会づくりを目指すための「ビジネスによるLGBT平等サポート宣言」への賛同を表明しました。

同性パートナーのための「パートナーシップ証明書」

法的には夫婦と認められない人たちが、家族として当たり前の権利やサービスを受けられないという社会課題がある中、セガサミーホールディングスは、各種社内制度において、同性パートナーを配偶者と同じ扱いとしています。同性パートナーの申請には、公正証書の提出が必要となりますが、今後、一般社団法人Famieeが発行する同性パートナーのための「パートナーシップ証明書」を利用可能とする予定です。

SS 人種差別反対の意思表示

反人種差別運動「Black Lives Matter」が広がる中、Sega of America, Inc.のTwitterを通じて、2020年6月には黒人差別に反対する声明を発信。また、急増するアジア系の人々に対するヘイトク

ライムに対しては、2021年3月に、すべての人種差別や暴力の根絶を支持する旨のメッセージをSega of America, Inc.、セガサミーホールディングスより発信しました。

SS 障がい者支援

- 「The Valuable 500」に加盟
- 障がい者アートの展示販売会を開催
- 障がい者雇用におけるソーシャルインクルージョン日米共同研究(期間:1年半)を2021年2月に開始
- 障がい者雇用に関する国際カンファレンスで2021年3月、特例子会社セガサミービジネスサポートが日本の障がい者雇用の現状、自社の能力開発などについて講演

視覚障がい者とダンスの新しい味わい方を探求

一般財団法人セガサミー文化芸術財団が運営する「Dance Base Yokohama (ダンスベース横浜)」は、視覚障がい者とダンスの新しい味わい方を探求するプロジェクト「ダンスのアクセシビリティを考えるラボ～視覚障がい者と味わうダンス観賞篇～」を2020年12月に実施しました。



©Naoshi HATORI



多様性の向上／不平等の排除

ダイバーシティ推進と人権尊重

SS 人事・労務に関するデータ(2021年3月末時点)

● 対象範囲

2021年3月期：国内12社（セガサミーホールディングス、セガグループ、セガ、サミー、セガトイズ、トムス・エンタテインメント、セガサミークリエイション、セガ・ロジスティクスサービス、サミーネットワークス、フェニックスリゾート、ダーツライブ、パタフライ）

※2019年3月期：国内15社、2020年3月期：国内13社

障がい者雇用

	2019年6月	2020年6月	2021年6月
雇用人数(名)	104	98	129
雇用率(%)	2.16	2.26	2.32

※企業グループ適用の障がい者雇用率

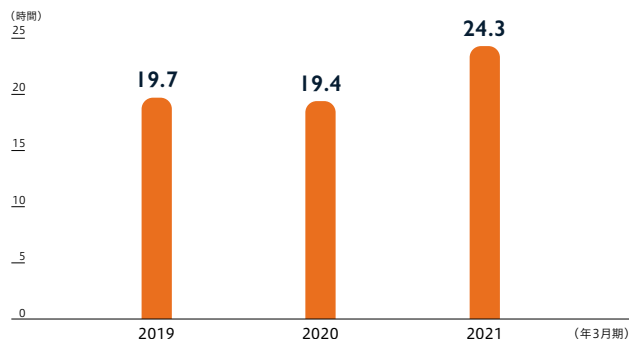
労働安全衛生(サミー川越工場)

	2019	2020	2021
労働災害発生件数(件)	1	0	1
労働災害度数率(%)	0.00	0.00	0.00

※労災による休業はありません。

(年3月期)

月平均時間外労働時間

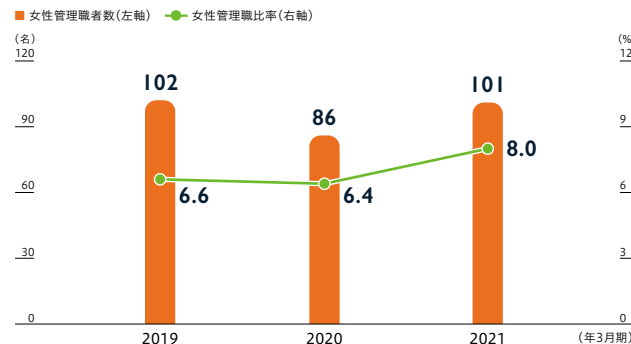


ワークライフバランス

	2019	2020	2021
月平均時間外労働時間(時間)	19.7	19.4	24.3
有給休暇取得日数(日)	12.5	14.0	11.0
一般社員	13.1	14.6	11.0
管理職	10.5	12.0	9.0
有給休暇取得率(%)	69.5	75.6	48.1
一般社員	75.1	80.9	50.7
管理職	54.5	61.0	40.2
年間休日(日)	125.8	128.0	125.0
ボランティア休暇のべ取得人数(名)	42	16	0
ボランティア休暇のべ取得日数(日)	101	18	0

(年3月期)

女性管理職者数・管理職比率

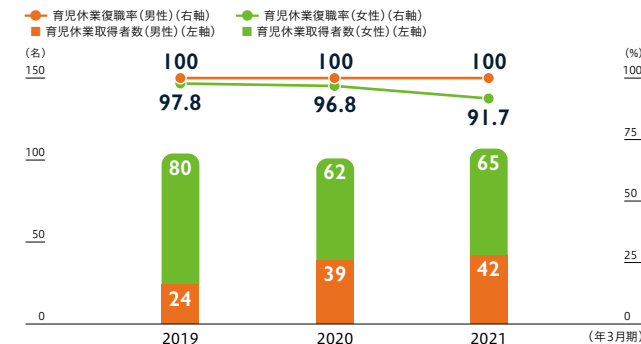


両立支援制度の例※

育児	育児休業制度	子が2歳に達した日以降も保育所に入所できない場合は、その後初めて到来する4月の育所入所日まで
	短時間勤務	小学校就学まで、1日につき退勤時間を最長2時間短縮可 小学3年生まで、1日につき退勤時間を最長1時間短縮可
介護	介護休業制度	1名につき93営業日まで取得可(介護短時間勤務含む)
	介護短時間勤務	93営業日以内で、1日につき最長2時間取得可
	介護休暇	積立年休の保有日数を限度とし、長期介護休暇を取得可

※セガサミーホールディングス、セガ、サミー

育児休業取得者数・復職率





製品／サービス

製品・サービス品質向上／安心・安全な製品提供 顧客サポートの充実

P 遊技機事業におけるDX推進の取り組み

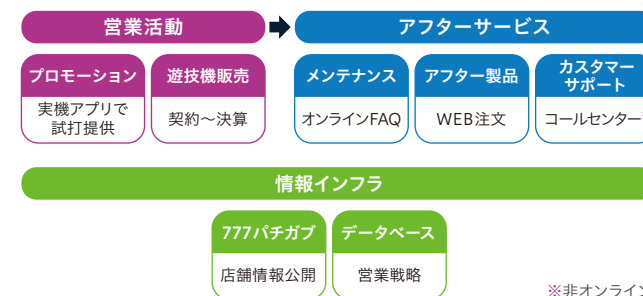
「Sammy Plus」は「サミプラ」の愛称でも知られ、これまでサミーグループの新機種情報やカスタマーサポートなどを提供しており、すでにホール8,000店舗以上(全国ホールカバー率90%超)で利用されているサービスです。2020年8月からは「777EC」(スリーセブン・イーシー)の名称で製品注文機能を備え、製品注文から部品注文・修理対応まで、24時間365日オンラインで受け付け可能なワンストップサービスの提供を始めました。ほかの遊技機メーカーにもこのシステム利用を呼びかけるなど、オンライン時代の業界プラットフォームとなる総合プラットフォームを目指しています。

2021年6月からは、「777EC」において遊技機導入時に所轄警察署に提出が必要な保証書の電子データ保存サービスも開始しました。これ

は2020年12月に警察庁が発出した「風営適正化法の解釈運用基準について」とした通達で押印または署名を必要とする規制の見直しを受けて実用化したものです。申請書類の電子化で保管・管理が容易になり、ホールとメーカー双方の手続き工数削減による効率化が期待できます。将来、警察行政への申請もデジタル化が予想される中、書類電子化など、DX推進のメリットを遊技機産業でも享受できるように推進します。また、2022年春頃には製品発注から修理対応のサービスに加え、プラットフォーム内での商談も可能となる予定です。今後は、コロナ禍で訪問営業を望まれないホールや、営業所よりアクセスに時間を要する場所にあるホールとのコミュニケーションが取りやすくなります。また動画やアプリなどを駆使することで、わざわざ支店や営業所に来てい

ただかなくても、デジタルのアプリでご自身の好きなときにスマホやタブレット、PCなどで仮想試打できる仕組みも用意しています。

WEBで完結する「777EC」プラットフォームの全体像



E 「ぷよぷよeスポーツ」に、色覚多様性に対応した「色ちょうせい」機能を追加

今まで色の識別が難しく「ぷよぷよ」を敬遠していた方々に向けて、色覚多様性に対応した「色ちょうせい」機能を追加するアップデートを実施しました。本機能は、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構(CUDO)の監修を受け、「1型2色覚」「2型2色覚」「3型2色覚」など「3タイプの色覚」に対応し、「色のつよさ」も設定できるようにしたほか、「ぷよ」の落下中の点滅効果を削除、形状での判別がしやすいように、「ぷよ」の形状を16種類にまで増やしました。そのほか、オンライン対戦機能では、「3タイプの色覚」それぞれと「デフォルト」利用の方々が、個人の画面設定を使って対戦することもでき、多くの方々が一緒にプレイすることが可能になりました。

「色覚多様性に対応したぷよぷよ体験会」開催

CUDO主催「第47回CUD友の会」にて、「色覚多様性に対応したぷよぷよ体験会」を2021年2月20日にオンライン開催しました。「CUD友の会」は、色弱者・カラーユニバーサルデザインに関心のある方々の集まりです。



P 新型コロナウイルス感染拡大における遊技ホールへの支援策

2018年の改正規則施行を受けて、ぱちんこホールでは旧規則機の新規則機入れ替えを進めていますが、新型コロナウイルス感染症による営業時間短縮などの影響がある中、全日本遊技事業協同組合連合会から日本遊技機工業組合と日本電動式遊技機工業協同組合に入った要請に基づき遊技機購入代金の支払猶予を実施しました。



製品／サービス

製品・サービス品質向上／安心・安全な製品提供 安全な製品の提供

E 製品・サービスへの表示とラベリング

エンタテインメントコンテンツ事業のコンシューマ分野では、家庭用ゲームソフトの製品パッケージや取扱説明書などに、お客さまに安心して製品やサービスをご利用いただけるよう、説明法規制や業界団体が定めるガイドライン・社内規程に準じて、わかりやすく適切に表示することを徹底しています。また、各種製品における利用対象範囲の明確化や倫理問題にも積極的に取り組んでおり、各国の倫理審査結果に従った表示を行っています。日本においては、CERO※に基づく対象年齢表示に加え、独自の自主基準も表示しています。またCEROの審査を通じて得たノウハウを蓄積し、事例をもとにした9カテゴリー、26項目のガイドラインを策定しているほか、メールマガジンを通じて国内外の倫理的な表現問題に関する最新事例を随時発信することで、社員の意識向上を図っています。

※特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構の略称

CEROのレーティング制度に基づく年齢区分マーク

ゲームソフトの表現内容に基づき対象年齢などを表示することで、安心して購入し、楽しんでいただくことができます。国内で販売される業務用ゲームソフトを除く家庭用ゲームソフトなどが表示対象です。



全年齢対象



12才以上対象



15才以上対象



17才以上対象



18才以上のみ対象

E P 品質保証体制

エンタテインメントコンテンツ事業のアミューズメント機器分野では、営業、開発などのラインから独立した立場のセガ品質保証部が、品質保証規程に基づいて製品やサービスの安全性と品質を一括して管理することで、体制の強化を図っています。特に製品の安全性については、自主基準ならびに業界団体のガイドラインに準拠し、安全管理を徹底しています。また、開発や生産、営業、品質管理などの各部門の関係者が集まり、製品仕様・設計仕様・量産仕様・量産判定の4つの観点で製品を評価するデザインレビューを実施しています。このほか、さまざまな安全管理手法を用いて製品のリスクを評価するPL診断も行っており、さらに出荷判定会議で出荷の最終的な判断を議論するなど、厳しい基準を満たした製品のみを市場にリリースしています。

遊技機事業では、積極的な創意工夫と効果的に改善を行う品質保証活動により、安全で良質な製品やサービスを提供しています。また、人体の安全に関わる「重要不具合ゼロ」という目標も設定しています。

サミー生産統括本部品質保証部では、まず開発段階で「信頼性試験」を実施しますが、ここでは製品設計の妥当性確認のほか、振動・落下・静電気・温湿度試験を通じて顧客（ホール・ユーザー）が期待する信頼性を有しているかどうかを確認します。この後、生産移行品の受取・管理を経て、量産段階での品質監査までを一貫して実施しています。

品質保証体制の流れ（アミューズメント機器）



※DR：デザインレビュー（設計審査）



製品／サービス

地域コミュニティなどへの貢献 事業を通じた社会貢献

SS 品川区との連携

当グループの本社ビルがある品川区と連携し、地域活性化や教育支援など、地域の一員として積極的に社会貢献活動に取り組んでいます。

活動実績テーマ	内容
教育プログラムの提供	- 区内の小中学校へ、学習教材「ぶよぶよプログラミング」提供、ワークショップ実施 - 区内の中学生へ、eスポーツプロ選手によるオンラインキャリア学習会の実施
地域イベントなどへのエンタテインメント提供	商店街主催のイベントで「ぶよぶよeスポーツ体験会」実施
社会貢献活動	- 子ども食堂支援 - 清掃、花壇整備ボランティア - 使用済み切手の寄付

プログラミング特別授業

品川区の小学生を対象に、アクションパズルゲーム「ぶよぶよ」を用いてプログラミングを学ぶ特別授業を実施しました。また、中学生には、講師に「ぶよぶよeスポーツ」のプロ選手を迎え、eスポーツプロとしての仕事に関する講演も行いました。



プログラミング特別授業の様子



花壇のケアを行う社員たち

花壇整備ボランティア

グループ本社がある品川区の景観を守るため、特例子会社セガサミービジネスサポートの障がいのある社員がボランティア活動としてしながわ花海道、大崎駅周辺の花壇整備を継続的に行っています。

SS 七ヶ浜町との包括的連携協定

当グループは2011年3月の東日本大震災直後から、がれき撤去などの復旧作業や、心の復興を目的とした応援イベントなど、社員ボランティアによるさまざまな支援を行ってきました。2019年、この活動を通じてご縁が生まれた宮城県七ヶ浜町と地方創生に向けた包括的連携協定を締結し、グループ社員が現地に出向して、グループ会社のリソースを活用することで地域の課題解決や活性化に取り組んでいます。2022年3月期からはスポーツダーツを活用した「七ヶ浜アロープログラム」がスタートしました。

活動例

テーマ	実施内容
- 高齢者の運転寿命の延伸 - 高齢男性の社会活動の参加促進	ドライビングシミュレーターを用いた活動 - 公共施設での体験会 - 関係各課と連携した地区持込出前講座 - 町内団体、町内行事と連携した体験ブースの設置
- 介護・認知症予防 - 多世代交流 - コミュニティ - スポーツ振興ほか	スポーツダーツを用いた活動 - 介護予防教室、放課後児童クラブでの定期体験会 - 七ヶ浜国際村に「DARTSLIVE2」を導入、町内団体への機材貸出 - 町内団体、町内行事と連携した体験ブースの設置
- 七ヶ浜町のPRおよび地域活性化 - 七ヶ浜国際村施設改革	ぶよぶよeスポーツを用いた活動 「ぶよぶよeスポーツ大会@七ヶ浜国際村～eスポーツってなあに?～」を開催 「ぶよぶよ」を通じたeスポーツの学び、体験機会の提供

その他の取り組みはこちらから [📄](#)



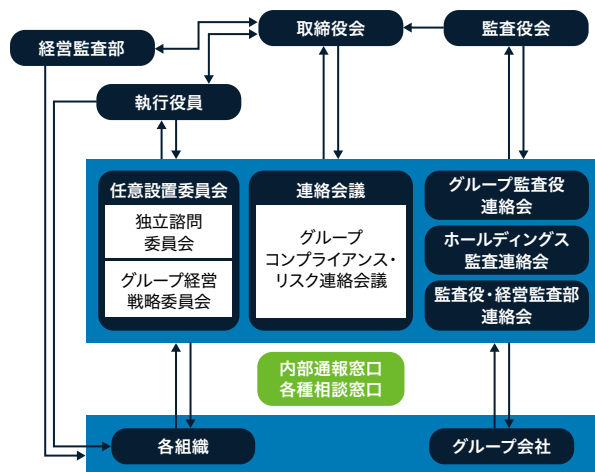
ガバナンス

ガバナンス体制強化／コンプライアンス強化 コンプライアンスの強化

SS コーポレート・ガバナンス体制

当グループは、コーポレート・ガバナンスこそ持続的な企業価値創造に不可欠なものと考えています。企業経営の「効率性の向上」、「健全性の確保」、「透明性の向上」を「コーポレート・ガバナンスに関する基本方針」として掲げ、経営の重要な問題をこの方針に従い判断しています。また、社員全員が企業倫理や法令遵守を徹底するよう、「グループ行動規範」や「グループ・マネジメントポリシー」に基づき、さまざまなコンプライアンス推進活動を行っています。

コーポレート・ガバナンス体制



ガバナンス体制の全体像はこちらから [🔗](#)

SS コンプライアンス意識の啓発

社員のコンプライアンスの意識向上と理解醸成を図るため、啓発活動を実施しています。社内外の講師を起用した集合研修は、コロナ禍を見据えて早期よりフルリモート環境を整備・実施。そのほかe-learning、メールマガジンの配信、強化月間の実施など、ニューノーマルの時代にマッチした啓発活動に取り組んでいます。特にハラスメント撲滅の推進については、管理職層を中心とした研修会を実施するほか、年4回のハラスメント特集記事をメールマガジンにて配信したり、グループ内のハラスメント事例を漫画化して紹介するなど、注意喚起に注力しています。

コンプライアンス研修実績

	研修回数	受講人数	対象企業
新任役員	1	13	セガサミーホールディングス、セガグループ、セガトイズ、トムス・エンタテインメントなどグループ全社
既任役員	2	118	
合計		131	
一般職	34	1,361	グループ18社対象
管理職	59	849	
合計		2,210	

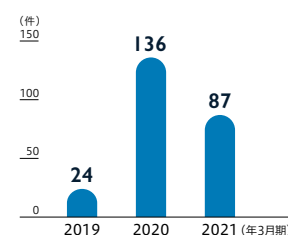
ハラスメント研修実績

	研修回数	受講人数	対象企業
一般職	4	64	グループ18社対象
管理職	16	297	
合計		361	

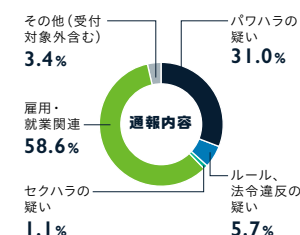
SS 内部通報制度

全社的な周知活動や、公益通報から敷居を下げることも匿名性の高い第三者機関へ窓口を変更する(2019年)など、社員の意識向上を図りながら、より相談しやすい環境づくりに取り組んでいます。

内部通報件数(相談を含む)



通報内容の内訳(2021年3月期)



SS 反社会的勢力の排除

「グループ行動規範」に反社会的勢力との一切の関係を排除する旨を明記するとともに、お取引先との契約書に暴力団排除条項を組み込み、お取引先が反社会的勢力に該当するか否かのチェックシステムを導入しています。反社会的勢力からの接触を受けた際は、警察・弁護士などを含め外部機関と連携して組織的に対処します。

腐敗防止などその他の取り組みはこちらから [🔗](#)



ガバナンス

ガバナンス体制強化 リスク・マネジメントの状況

SS 危機管理

当グループは、事業の推進および企業価値の維持・向上を妨げる重大なリスクに対し、平時より対策を検討し、損失を最小化する体制を構築することで、さまざまなステークホルダーへの影響を極力小さくするよう最大限の努力を行い、社会から強い信頼を得る企業集団を目指しています。

また、クライシス（緊急事態）発生時に備え、「セガサミーグループ危機管理ガイドライン」を制定し、重大な危機が発生した場合の即応体制を整備・維持しています。

2020年からの長きにわたる新型コロナウイルスのパンデミックに対しては、社員の健康・安全の確保と、エンタテインメント企業としての社会的責任を果たすための事業継続を両立すべく、グループ共通の対応方針を定め、全社一丸となって感染拡大防止に向けた取り組みを進めています。今夏にはグループ社員およびそのご家族、取引先などを対象としたワクチンの職場接種を実施し、約9,000名の方への接種を完了しています。



新型コロナウイルスワクチンの職場接種会場

SS 知的財産の管理

当グループでは、知的財産は企業競争力を高める重要な要素かつ企業経営を支える経営資源と位置づけ、事業ごとに方針を掲げて取り組んでいます。また、階層や業務に合わせた研修や説明会の実施、競合他社などの最新情報の発信などを行い、知財への意識啓発推進を図っています。

エンタテインメントコンテンツ事業では、知的財産部が各部門と連携して事業戦略に即した知財戦略を策定・実行することにより、グループ全体で知的財産権を積極的かつ戦略的に取得・活用していく取り組みを進めています。特に商標権利化によるグローバルな商標ポートフォリオの構築・国際登録制度の積極活用によって、ハウスマーク・ゲームタイトル・キャラクターなど、広範囲なブランド保護強化を戦略的かつ低コストで実現しました。これは世界知的所有権機関(WIPO)に好事例として紹介されています(詳細)。

また、ブランドの維持・向上のためにグローバルな模倣品・侵害品対策にも積極的に取り組んでいます。

遊技機事業では、研究開発の段階ごとに知財調査を実施し徹底したリスクアセスメントを行うとともに、年間500件以上の特許出願を行うなど、技術分野ごとに戦略的な知財ポートフォリオを構築し、効果的な知財活用を推進しています。

新規事業においては、安全に事業展開をするために、事前の技術調査や知的財産デュー・デリジェンスを徹底して行うとともに、自社の技術的な強みについては積極的に保護を図り、企業競争力の強化に努めています。

SS 情報セキュリティ

当グループでは、お客さまの情報はじめ、経営情報や営業情報などすべての情報を重要な財産と捉え、「グループ情報管理に関する方針」「グループITセキュリティに関する方針」「グループ個人情報保護に関する方針」「情報管理規程」などを定めています。また、グループ各社の担当者による情報共有の場を設け、グループ全体での取り組みを一層強化するための施策を話し合うなど、情報管理体制の強化に向けた取り組みを進めています。2021年3月期は、テレワーク普及に伴うリスク低減策として、さまざまな取り組みを行いました。

- 「テレワークセキュリティガイドライン」の作成と公開(2020年7月)
- イン트라ネットなどでの在宅勤務セキュリティ教育の実施(2020年8月)
- テレワーク啓発マンガの制作・製本・配付(2020年11月)
- 標的型攻撃メール訓練の実施(2021年2月)



テレワーク啓発マンガ



環境

事業活動から発生する環境負荷の軽減

廃棄物削減(リユース・リサイクル)の取り組み

E 使用済みアミューズメント機器のリサイクル

セガ・ロジスティクスサービスでは、処理コスト低減と不法投棄を防止するリサイクルシステムを全国展開しています。使用済みアミューズメント機器の保管管理を同社が担当し、優良機器はリユース販売へ、不要機器は補修用途のリユース部品化や産業処理の工程へ進めます。

同社が千葉県の子会社事業所に招致する産業廃棄物中間処分業者では、機器の素材別手分解を行い、「埋立ゼロ・単純焼却ゼロ」の100%リサイクルを実施。アミューズメント機器用の不要カードや用紙類、一部廃プラスチックは、代替燃料であるRPF※となり、サーマルリサイクルにて熱回収されています。

※Refuse Paper & Plastic Fuelの略。産業系廃棄物のうち、マテリアルリサイクルが困難な古紙および廃プラスチック類を主原料とした高品位の固形燃料



アミューズメント機器を分解し、部品を仕分け

P 遊技機の部品リユース・回収の取り組み

サミーでは、遊技機を構成している部品のリユース性を高めるため、設計・開発段階から部品・基板・ユニットの共通化を図り、2016年にリユースできる部品点数の目標値を定めました。2021年3月期の回収率は89.7%でした。引き続き、リユース効果の最大化を目指していきます。

業界内においては、他メーカーと連携して部品・ユニットのプラットフォーム化を図り、業界全体での環境負荷軽減に向けた取り組みを継続しています。

E Sega Europe Ltd.でプラスチック製パッケージを一部廃止

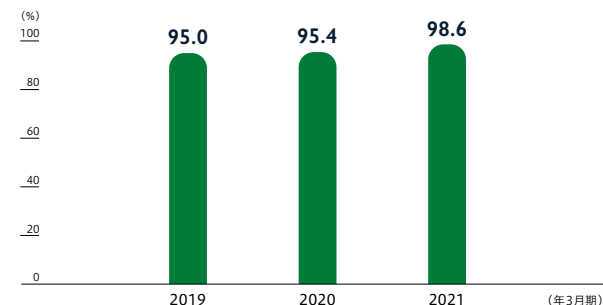
Sega Europe Ltd.は、PCパッケージ商品の梱包材を完全にリサイクル可能な素材のみに切り替える取り組みを開始しました。こうした動きは、同社とSports Interactive Ltd.が共有する「地球温暖化対策にプラスチックの代替品を探し出すことで貢献できないか」という願いが原動力となっています。パッケージとマニュアルには100%リサイクル再生紙を使用。専門の業者を必要としないため、一般家庭から紙資源として排出できリサイクルが可能となります。また、印刷には水と植物性のインクを使用し、ディスクは専門業者によってリサイクルが可能となっています。

P 環境配慮木材の使用が100%に

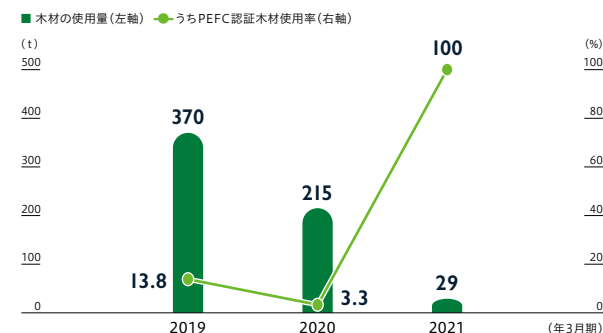
サミー川越工場では、使用する木材について、環境配慮材料であるPEFC認証※木材への切り替えを進めてきました。2021年3月期は使用木材(29t)のすべてをPEFC認証木材に切り替えました。

※持続可能な森林管理を促進する、国際的な森林認証制度

サミー遊技機のリサイクル率



サミー遊技機の環境配慮素材の利用





環境

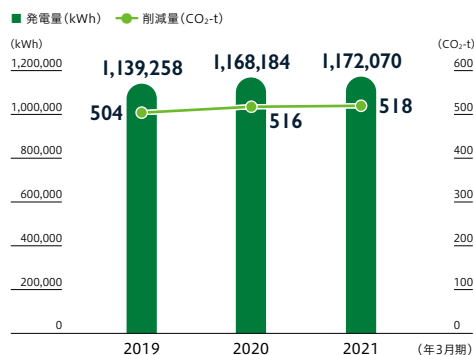
地球環境資源への配慮

地球温暖化対策と水使用量削減

E グリーン電力証書システムの導入

セガでは、2005年4月より日本自然エネルギー株式会社と契約し、年間100万kWhの「グリーン電力証書（マイクロ水力、バイオマス）」を購入しています。さらに、横浜市風力発電事業に賛同し、「Y（ヨコハマ）-グリーンパートナー」として協賛しました。2021年3月期の実績は約17万kWhでした。これにより合計で、CO₂排出量を約518t-CO₂削減できる見込みです。

※2021年9月終了

グリーン電力の発電量とCO₂削減量

E 環境配慮設計

セガのメダルゲーム機の「バベルのメダルタワーW!」「ガッツ釣りGO!」において、従来製品「アラビアンジュエル」の消費電力と比較して44～62%削減するなど、省電力化への取り組みを継続しています。これらアミューズメント機器は、現行製品の部品を新製品へリユース可能な設計にし、「StarHorse4」では「StarHorse3」のメインモニターを流用し、サテライトも改造でのゲーム継続を可能にするなど廃棄物抑制に努めています。

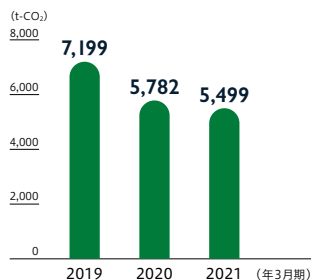
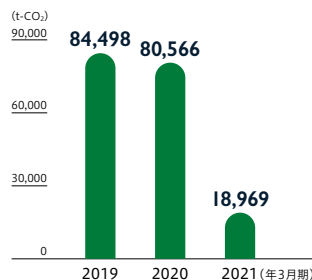
サミー川越工場で、LED照明に切り替え



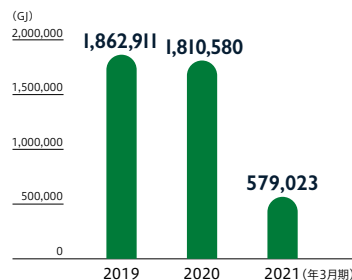
サミー川越工場では、タイマー設定による照明ON・OFFや人感センサーなどにより節電に努めています。環境配慮をさらに進めるため、2021年7月から10月末にかけて、工場内の照明5,493器をLED照明に切り替えています。LED照明化により、5割以上の電気代削減やCO₂排出量の削減が可能となります。

SS 環境に関するデータ

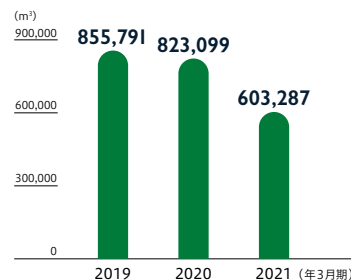
2021年3月期の対象範囲：グループ11社（セガサミーホールディングス、サミー、サミーネットワークス、セガ、セガトイズ、セガ・ロジスティクスサービス、ダーツライブ、トムス・エンタテインメント、フェニックスリゾート、Sega of America, Inc.、Sega Europe Ltd.）※2019年3月期：国内15社、2020年3月期：国内14社

CO₂排出量（スコープ1）CO₂排出量（スコープ2）

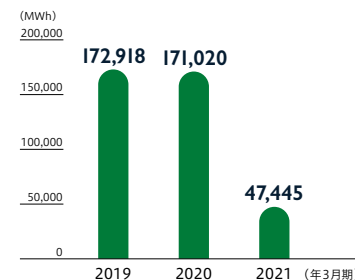
総エネルギー投入量



水使用量



電力使用量



- ・スコープ3については2020年3月期分より試算中です。
- ・集計データの一部延床面積による推計値を含みます。
- ・CO₂排出量の減少は、燃料使用量および電気使用量の削減が要因です。
- ・購入電力のCO₂排出係数：各報告年度の前年度の電気事業者別の調整後排出係数を使用しています。



環境

地球環境資源への配慮

自然環境の保護、整備への貢献など

R フェニックス・シーガイア・リゾートによる環境保全

黒松林の保全活動

宮崎県にあるフェニックス・シーガイア・リゾートでは、周囲に広がる黒松林の保全活動を続けています。全国的には、1haあたり15本以上の松が枯れる被害がある中、本施設が独自に編み出した生態系重視の松の管理法により、年間の松枯れ本数1haあたり約0.4本／1haという驚異的な数字を記録した年もありました。

また、本施設における緑地、合計約2,417,000㎡によるCO₂固定量は、2,168世帯の年間消費電力を算出される際に排出される量に相当します。温暖化防止、大気の浄化などを通して、生物多様性の維持にも貢献しています。



一ツ葉海岸にある黒松

海岸の清掃活動

リゾートエリアの東側に広がる一ツ葉海岸は、宮崎県指定天然記念物である、アカウミガメの産卵地となっています。

フェニックス・シーガイア・リゾートでは、産卵地の保護を目的として、2015年より定期的に海岸清掃活動「シーガイア ビーチクリーン in 一ツ葉」に取り組んでおり、2021年は5月に今年度の新入社員をはじめとするスタッフで実施しました。

5月から8月上旬は産卵シーズンのため、海岸を訪れるウミガメが安心して産卵できるように、また、ふ化した子ガメが無事に海に戻るよう、毎年5月上旬にごみや流木を拾い集めるなどの環境保全活動を行っています。



2021年の「シーガイア ビーチクリーン in 一ツ葉」の様子

E 「セガの森」で長野県と環境保護

セガでは、長野県が仲介役となって進める「森林(もり)の里親促進事業」の趣旨に賛同し、2008年4月より長野県南佐久郡南相木村と「森林(もり)の里親契約」を締結しています。その対象となる民有林約3,633ha(東京ドーム約773個に相当)を「セガの森」と名付け、CO₂吸収源となる森林の整備資金を一部提供することで地球環境保護に取り組んでいます。その整備による、2020年度のCO₂吸収量は149.0t-CO₂でした。

「セガの森」のカラマツ材を内装に使用しているセガサミー本社の社員食堂(上)と、本社内のそらもり保育園(中)。「森の里親契約」を結んでいるセガの森(下)



各メディアでの開示情報

本レポートとあわせてご活用ください。

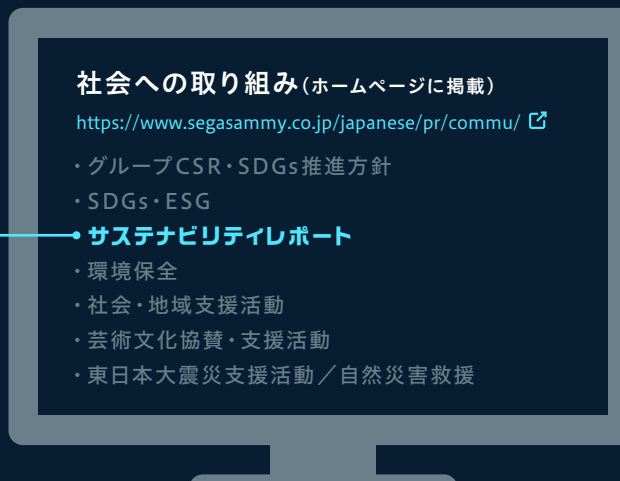
サステナビリティアクションレポート 2021



主な記載内容

- 5つのマテリアリティ(重要課題)の取り組み事例
- 最新年度の取り組み

WEBサイト



主な記載内容

- CSRへの考え方
- 網羅的な取り組み情報の詳細
- 過年度の報告

統合レポート 2021



主な記載内容

- 財務・非財務情報
- 中長期ビジョン・経営戦略
- 中期計画(戦略、目標、取り組み概要)
- 経営における課題とリスク

GRIサステナビリティ・レポート・スタンダード内容索引はこちら [🔗](#)

統合レポート2021はこちら [🔗](#)